



社団法人 日本美術家連盟 情報公開書

平成22年度事業報告	2
平成22年度貸借対照表	3



平成22年度事業報告

自平成22年4月1日
至平成23年3月31日

〔実施事業〕

調査研究に係る事業

1 研究事業及び提言事業

(1) 著作権の関係機関・団体の活動への協力
著作権の関係機関・団体の活動に協力し、

当面する著作権問題についての情報を収集、研究するとともに、美術家の立場から種々意見の具申を行った。

(2) 美術著作権の集中管理の在り方について
の調査
著作権委員会を開催して、美術著作権を集中的に管理し、

処理するための基本的な枠組について研究を行った。

(3) 義務教育における美術教育の実態の調査・研究
海外の美術教育の現状を調査・研究するため、下記記事を連盟

に提供した。

「連盟ニュース」を年4回刊行し(第43号~47号)、会員、美術館、美術団体、関係組織、報道機関等に頒布した。

「スペインの小学校の美術教育」宮原むつ美氏執筆(連盟ニュース第435・436号)

1 国際交流事業

(1) 国際美術連盟(IAA)の協力事業
A) 加盟団体として

① 9月21日、中国の北京飯店において開催されたIAA執行委員会に、執行委員兼アジア太平洋地域コーディネーターの入江観氏が参加した。

同執行委員会では主として、メキシコのグアラダハル市で開催予定のIAA総会(2011年4月)について協議された。

② 前ユネスコ事務局長松浦晃一郎氏の主催により、来日中のユネスコ新事務局長イリーナ・ボコバ女史を囲む歓迎夕食会が開催され(11月24日)、松浦氏の招きにより入江観氏が出席した。

同夕食会において入江氏はボコバ女史とIAAとユネスコとの更なる協力関係の推進について懇談した。

③ 12月7日、8日の両日は、中国の海南島において、IAA執行委員会が開催され、入江観氏が参加した。

同執行委員会では、メキシコ総会の準備状況について確認したのち、コングレスのテーマ、IAA会費の算定基準の見直し等について協議された。

④ 12月6日午後、山本貞理事長が近藤誠一文化庁長官と同長官室において、文化と芸術の国際交流の推進について対談を行った。

⑤ IAAカードを持参する外国人美術家が、日本国内の主要な美術館・博物館等で入場優待を受けられるよう、関係方面に陳情した。

(2) 文化庁の芸術家研修員制度への協力事業
文化庁の推進により、新進芸術家海外

研修員の応募を募り、候補者を文化庁に推薦したところ、3名が内定した。

(3) 美術家の国際展、国際コンペ等への参加幹事事業
下記国際展の応募要項を会員に知らせた。

① 第10回レッセドラ国際小版画展(ブルガリア・ソフィア、2011年8月9日~28日)

② 第20回ユーモアと風刺国際ビエンナーレ(ブルガリア・ガルボロ、2011年5月21日~9月30日)

③ 第12回中国・長春国際彫刻シンポジウム(2011年7月下旬~9月初旬)

名作品19点を展示、紹介した。

(2) 地区活動の推進
北海道地区の企画により、「タブローとしてのフレスコ画」講習会を10月8日、札幌市教育文化会館で開催した。(講師:小作青史、大野彩両氏、助手:鈴木朝湖、道源綾香両氏)

3 相談事業
会員及び一般からの著作権に関する相談、問い合わせに際してともに、法律顧問、税務顧問の援助を得て、法律問題、税金問題等、各種の相談について便宜を図った。

1 国内著作権代理業務
国内の著作権者の依頼にもとづき、国内美術作品の著作権代理業務を行った。(著作権手数料収入 二、三五四、九一五円)

2 外国著作権代理業務
海外の著作権協会との双務契約にもとづき、海外美術作品の著作権代理業務を行った。(著作権手数料収入

収益事業

1 国内著作権代理業務

2 セミナー・講習会等事業

3 相談事業

1 国内著作権代理業務

2 外国著作権代理業務

3 相談事業

1 国内著作権代理業務

2 外国著作権代理業務

3 相談事業

1 国内著作権代理業務

2 外国著作権代理業務

3 相談事業

- 入 一、一九五、二六五円)
- 3 貸室・貸画廊
会議・アトリエ及び画廊を賃貸し、会員・美術団体等の利用の便を図った。
- 共益事業
- 1 見舞・弔慰
内規にもとづき下記の通り実施した。
病気・負傷見舞
40件五七〇、〇〇〇円
長期療養見舞
57件二二八、〇〇〇円
弔 慰
100件二、八〇〇、〇〇〇円
合 計
197件三、五九八、〇〇〇円
- 2 下記保険の加入斡旋
左記保険への加入斡旋を行った。
ア 文芸美術国民健康保険
イ 美術家所得補償保険
ウ がん保険
- 3 会員管理・会費管理
会員台帳及び会費台帳の管理を行った。
- 4 展覧会入場優待
会員証による、各種美術団体、各種展覧会等への入場優待及び割引入場の便宜を図った。

平成22年度貸借対照表
(平成23年3月31日現在)

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	179,235,095	160,775,198	18,459,897
売掛金	1,014,285	1,489,469	△ 475,184
未収入金	69,090	225,540	△ 156,450
商品	4,867,403	5,634,134	△ 766,731
貸付金	740,000	740,000	0
仮払金	200,000	0	200,000
事業部勘定	230,626,596	219,529,980	11,096,616
流動資産合計	416,752,469	388,394,321	28,358,148
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2) 投資有価証券			
有価証券	635,000	635,000	0
投資有価証券合計	635,000	635,000	0
(3) 特定資産			
新会館建設引当資産	280,000,000	280,000,000	0
職員退職給付引当資産	46,000,000	46,000,000	0
特定資産合計	326,000,000	326,000,000	0
(4) その他固定資産			
土地	65,160,360	65,160,360	0
建物	40,764,706	40,764,706	0
同減価償却引当金	-33,342,453	-33,073,253	△ 269,200
建物付属設備	18,937,478	18,937,478	0
同減価償却引当金	-17,773,818	-17,461,204	△ 312,614
器具・備品	10,124,742	10,124,742	0
同減価償却引当金	-8,853,348	-8,645,686	△ 207,662
電話加入権	146,484	146,484	0
ソフトウェア	596,835	810,417	△ 213,582
			0
その他固定資産合計	75,760,986	76,764,044	△ 1,003,058
固定資産合計	422,395,986	423,399,044	△ 1,003,058
資産合計	839,148,455	811,793,365	27,355,090
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金		20,475	△ 20,475
未払金		60,775	△ 60,775
預り金	27,615,111	26,388,468	1,226,643
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税	372,600	282,600	90,000
一般会計勘定	230,626,596	219,529,980	11,096,616
流動負債合計	258,684,307	246,352,298	12,332,009
2. 固定負債			
退職給与引当金		300,000	△ 300,000
固定負債合計	0	0	
負債合計	258,684,307	246,652,298	12,032,009
III 正味財産の部			
一般正味財産	580,464,148	565,141,067	15,323,081
(うち基本財産へ充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	0
(うち特定資産へ充当額)	(0)	(0)	0
正味財産合計	580,464,148	565,141,067	15,323,081
負債及び正味財産合計	839,148,455	811,793,365	27,355,090